

## 〈学術研究集会傍聴記〉

水野正樹博士(米国 University of Texas Southwestern  
Medical Center)の講演を聞いて

亀岡 舞\*

Mai KAMEOKA\*

今回ご講演くださったのは米国 University of Southwestern Medical Center で Assistant Professor として研究をされている水野正樹博士であった。毎回とても刺激のお話を聞くことができる学術研究集会に参加するのは今回で3回目であった。今回の講演内容は水野博士の研究内容および海外での研究生活についてであった。

水野博士は、高血圧に対する運動の影響についての研究を実験動物を用いて展開されている。中でも、私は運動昇圧反射について興味をもった。運動昇圧反射とは、活動筋から延髄へ入力する神経信号の総称であり、運動昇圧反射のキーワードは「延髄」だと私は理解した。しかしその後、水野博士は除脳という手技についてお話しされ、初めて聞く「除脳」という言葉に対して私は疑問を持った。それは文字通り、被験動物の脳を除するというものだった。延

髄に情報を送る脳を除することで、脳からの情報を除いた反射を調べるためのモデルであった。専門的な研究をされている先生だからこそ普段、聞くことができないお話を伺うことができ、とても刺激的であった。

また、ときより会場から笑いが起こる場面もあった。中でも海外での生活では、ラーメンが恋しくなり、恋しすぎるあまり豚骨からだしをとり自分自身で作れるようになった、というお話しが一番笑いが起こった場面であった。最後に、水野博士から「根拠のない自身を持つことが大切」という熱いメッセージをいただき、修士論文を進めていく上でのモチベーションに繋がった。今後も是非、このような集会を開催して頂きたいと思うとともに、積極的に参加していこうと思う。

---

\* 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科  
Graduate School of Health and Sport Science, Juntendo  
University